

H 2 6 . 1 0 . 1 4 洪水における摺上川ダムの効果

(最大で約94%の洪水を調節。)

降雨量

10月13日午後0時～14日午前8時までに合計88.2mmの雨が摺上川ダムの集水面積である160km²の地域に降りました。
(1時間当たりの最大雨量は14.9mmでした。)

下流への放流 (別紙防災操作図参照)

摺上川ダムへ入ってきた水の量は最大で1秒間に123立方メートルです。
(14日午前4時10分に記録しました。)

その時にダム下流へ流した水の量は1秒間に7立方メートルです。

(水道取水や東北電力発電所の取水など)

最大調節量 (ダムに貯めた量) は $123 - 7 = 116$ 立方メートル/秒です。

入ってきた量より少ない量を流すことがダムの効果です。

ダムがなければ、自然の川と同じで、最大で1秒間に123立方メートルの水量が下流に流れていったことになります。

$$\text{調節率} = \frac{123 - 7}{123} = 94\%$$

～H26. 10. 14 (台風19号) 防災操作図～

